

花と、人と、標識と。

季節ごとに咲いては枯れてを繰り返す花。ゆっくりと老いていく人間の私たちを見守りながら風化していく標識や建物。変化し続けるあらゆる物の「息づかい」が伝わるような、みずみずしい世界を表現しています。

SEIKA AWARD 2023で全部門960点の応募作品の中からグランプリを受賞した作品です。



SEIKA AWARD 2023 グランプリ
『ハナザカリノセカイ』

ここに注目!

“市民の声” 5ページ

はさみ

No.162 令和5年5月号

議会だより

すぎたに さくら
今月の
はさみの人
杉谷 桜空さん
波佐見高校 美術・工芸科3年



103 億円を計上

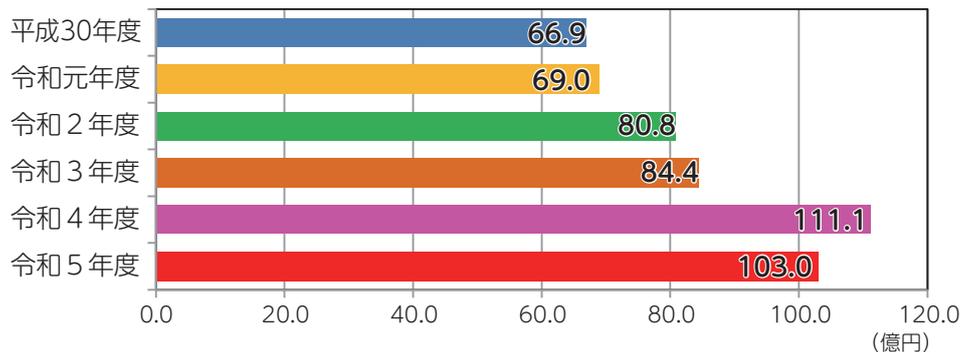
前年度比 8億1000万円 7.9%減

3月定例会において予算特別委員会を設置し、令和5年度の一般会計予算と特別会計、企業会計それぞれ3つを審議し、すべて全会一致で可決した。

※下水道事業特別会計は、令和5年度より企業会計となる。

当初予算の推移

ここ数年、大きな伸びを見せていた予算も新型コロナウイルス感染症対策費やふるさとづくり応援寄附金が落ち着きを見せ、数年ぶりの対前年比減となった。



令和5年度は、依存財源の国庫支出金、県支出金、町債のいずれも減となり、自主財源の繰入金が増となった。

歳入

令和5年度

自主財源 50.4%

依存財源 49.6%

令和4年度

自主財源 44.4%

依存財源 55.6%

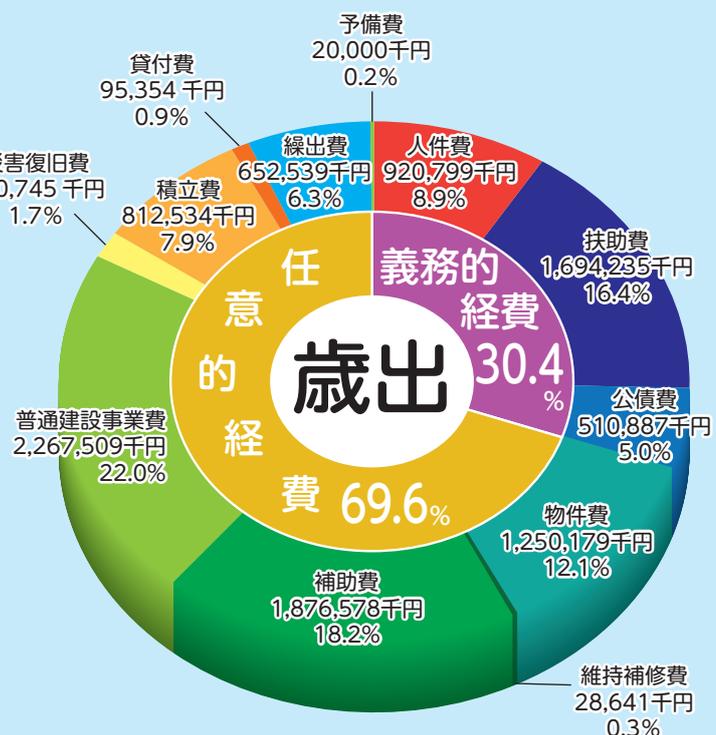
歳出

基本構想に掲げる将来像

「創る つなげる 超えていく」の実現に向け、波佐見の勢いを止めないまちづくりを進めるための予算編成。

主な事業

- コンビニ交付導入事業
- 行政手続きオンライン化事業
- 自治体DX推進事業
- 新庁舎建設事業
- 出産・子育て応援給付金事業
- 学校給食費（第2子以降無償化）
- 防災無線再整備事業



予算特別委員長報告

委員長 尾上 和孝

決算特別委員会の流れを受け、分科会による予算審査を行った。
分科会は、総務文教委員会、産業厚生委員会の常任委員会所管課の予算事項について、管理職や係長等を説明員とし調査を行った。

(所見)

歳入では、個人、法人、固定資産税ともに、前年度予算額増とし、ふるさと応援寄附金の見込みはあるものの、抜本的な改善とはなっていない。全体に占める自主財源の割合は、令和4年が44.4%、令和5年度が50.4%となり改善もみられるが、まだまだ地方交付税や国・県支出金に依存する財政基盤となっている。

このような中、人口減少社会に立ち向かい、基幹産業の活性化・交流人口の拡大・安心安全なまちづくりを推進するため103億円の「令和5年度波佐見町一般会計予算（案）」をはじめとし「各特別会計予算（案）及び企業会計予算（案）」が提案された。歳出では、社会保障関係費増加など厳しい状況が見込まれることから、引き続き財源の確保と充実が望まれる。



令和5年度 一般会計予算 予算特別委員会 Q&A

教育委員会・給食センター

Q 東小学校の工事請負費4700万円の学校整備改修工事は。

A 体育館の雨漏れ工事とキュービクルの取替え工事。

Q 講堂管理費の増額は。

A W.F.I.や照明（LED）の費用。

Q 3年目を迎える歴史文化交流館の大規模展示開催は。

A 11月に長崎県美術館の資料展示を予定。

Q 移転による総合文化会館の管理業務委託料は。

A 人件費2名の3か月分を計上。（令和6年1～3月分）

Q 学校給食支援事業は。

A 小中学校の第2子以降無償。

商工観光課

Q 新幹線タイアップツアー事業は。

A 関西方面からの誘客を増勢する事業。

Q 観光拠点整備事業の場所は。

A 陶芸の館2階、鬼木地区民泊拠点等。

庁舎建設推進室

Q アスベスト除去工事の場所は。

A 本館、応接室等の各ボード等。

議会事務局

Q 新庁舎議場等施設設置工事は。

A 議場におけるシステム工事等。

企画財政課

Q 波佐見高校支援事業補助金は。

A 寮として旧泉荘（長野郷）を活用。



Q ワンストップ関連事業委託料は。

A ふるさと応援寄附金において控除を受けるため特例申請業務を委託。

会計課

Q 役務費の手数料とは。

A コンビニ収納、口座振替収納、派出等の手数料。本年度より窓口収納手数料も。

総務課

Q 文書管理システム構築負担金は。

A ファイリングシステムと文書管理システムを連動させ一元管理。

Q 消防費備品購入でドローンの配置は。

A 町消防団にドローン隊を設置。



Q 防災行政無線再整備工事は。

A 本年度は新庁舎の親局の整備。

税務課

Q 入湯税で年間の入湯者数の見込みは。

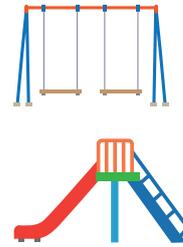
A 宿泊が228名、日帰り7万3000名分。



建設課

Q 鴻ノ巣公園遊具更新事業は。

A 8基の設置で4000万円計上。



Q ハザードマップ作成業務委託料は。

A 野々川の洪水マップを予定。

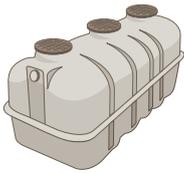
Q 町道改良及び舗装工事の場所は。

A 南部線、西部線、皿山長野線、中央小前の横枕線。

水道課

Q 浄化槽設置事業補助金は。

A 新築の18基で2100万円を予定。



Q 水道管の老朽は何年をめどに。

A 概ね50年を耐用年数と想定。

住民福祉課

Q マイナンバーの登録状況は。

A 交付率74.2%、申請件数率77.7%

Q マイナンバー受付の時間外は。

A 月2回、日曜日と平日の夜を予定。



Q 合祀墓設置工事について。

A 町民霊園の無縁墓30基が入る合祀墓を設置。

Q 資源ゴミ回収団体奨励補助金は。

A 登録している11地区に支出。

Q 野良猫不妊去勢手術費補助は。

A 20頭分の24万円を計上。



子ども・健康保険課

Q 保育環境改善補助金198万円は。

A 送迎バスに置き去り防止装置の設置。

Q 母子手帳アプリ利用料は。

A 年間39万6000円。

Q インフルエンザワクチン接種費は。

A 4000人分で1000万円を計上。

農林課

Q 有害鳥獣捕獲対策委託料は。

A イノシシ等1000頭分の見込。

Q 畜産業振興事業について。

A 肉用牛肥育経営安定、自給飼料支援等。

長寿支援課

Q 高齢者タクシー券利用率は。

A 現在62.5%、決算時70%の見込。

Q 家族介護支援事業補助金は。

A 在宅高齢者におむつ代を補助。

町の課題と解決策について、ご意見を伺いました。

意見1

本町の介護現場も人手不足で、募集をかけても応募がない現状が続いています。世間では「働き方改革」が叫ばれていますが、365日24時間体制の入所系施設では特に、職員の希望にそったシフトを組むのが難しく、子育て世代には働きにくいいため、職員の高齢化も進んでいます。施設はあっても職員不足で利用できない状況になりつつあるのです。

今後さらに認知症患者が増加すると予想されていて、家族の負担軽減のためには、入所系施設の拡充が急がれます。しかし訪問看護師や施設看護師等は処遇がよくなり、在宅・施設にかかわらず看取り環境にも影響が出かねないと危惧されます。職員の処遇改善、施設の拡充など、団塊の世代が超高齢者となる約20年先を見据えた施策が大きな課題だと考えます。



「オレンジの樹」や「包括支援センター」の活動は本当に素晴らしく、町ぐるみでバックアップするために、一層の情報発信と周知の徹底を図ってほしいと思います。

(50代・福祉施設職員)

意見2

私が住む地区でも農業の後継者がおらず、法人も他地区と合併する日が近いかもしれない。そんな中、「多面的機能支払い交付金」を活用し、地域の草刈りなどの環境保全に取り組んでいる。農家以外からも多くの参加があり、貴重な交流の場となっている。他地区では水路の補修も行っていると聞く。工夫次第で地域活性化の一助となり得ると考える。

(60代・農業従事者)



意見3

窯業も農業も課題は後継者の育成のあり方で、解決策は行政が積極的に後継者育成を開始することと考えます。「行政が農民をつくり、生地屋をつくる」減少する現状を黙って見ているのではなく、行政が主導する後継者の生産工場的な役割を担うようにしたらいかがでしょうか。

(60代・農業従事者)



意見4

中心部は買い物等の便が良いため新しい住宅が増加していますが、上や下地区でも便利な生活ができるような活性化策（独自の交通システムや商店街まちづくり）を計画してほしい。

(60代・主婦)



意見5

退職後、毎朝の登校見守り活動を始めて7年目になります。私が立つ南小学校近くの三叉路は、大型トラックの通行が激しく歩道も狭いため危険な通学路となっています。長年危険性が指摘され、議会でも取り上げられました。通行量の調査や図面等のデータを揃え交渉した結果、ようやく正規の信号機が設置されましたが、今でも危険で、雨の日は特に傘が車と接触しないか心配しながら見守っている状況です。

「子どもは地域の宝」です。子どもの成長が感じられるこの見守り活動は、私のエネルギー源になっています。これからも体力気力のあるうちは続けようと思います。

(60代・登校見守りボランティア)



*紙面の都合上、省略や変更した箇所がありますことをお許しください。

お寄せいただいたご意見は、議員間で共有し今後の活動に反映していきたいと思ひます。

波佐見町議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例

先の2回の町議会議員選挙が無投票であったことを受け、本事件は議会から発委提案された。これまで議員定数について協議と検討を重ねてきたが合意に至らなかった。

また、議員数の適正値も見い出なかったが、これからの人口減や類似団体等の比較を行い、採決の結果、定数を12名という結果に至った。

反対討論

岡村達馬 議員

議員についてはこの2年間で半数近くが激しく入れ替わっている。町の予算を見ても元年度のほぼ2倍、予算・決算の精査のマンパワーが不足しています。絶対的には反対しませんが、拙速な決定には不安を持ちます。現時点での定数減案には反対する。

岡村真由美 議員

定数削減は議員の「なりて不足の打開策」になり得ない。むしろ加速する事態ともなりかねない。また当選に必要な得票数が多くなるため立候補のハードルが高くなり、無投票と削減の繰り返しも懸念される。議会は町民の多種多様な意見を反映させる場でなくてはならない。

賛成討論

澤田昭則 議員

人口減少により県内各議会の定数減が続いている。今回の削減は10年、15年先を見据えた適正な考えだと思う。議員も資質の向上を図り、委員会活動や議会活動充実のために新たな制度も検討する必要がある。定数削減案に賛成する。

尾上和孝 議員

定数削減は議会改革調査特別委員会でも長い時間議論してきた。人口1000人に1人と言う考えはあるが今後の人口減少は避けて通れない。近隣を見ても議員定数削減に向かっている。個別の聞き取りや自治会長会からの要望や2回の無投票の結果を受け身を切る改革が必要である。

波佐見町課設置条例の一部を改正する条例

町長は今後の行政のデジタル化等に対応するため組織、機構を見直し、効率的な運営を図りたいとして、企画情報課や税務財政課の新しい課の設置に理解を求めた。しかし一部の課への負担が大きくなること。職員や議会への説明も十分でなく理解が得られていないこと。提案が拙速で対応策も十分でないとして1対11で否決された。

反対討論

北村清美 議員

拙速過ぎることに疑問である。町長しか分からないことは、町長が説明すべきである。議案は十分に職員間で納得してもらったのか。審議されていないことは明白である。少なくとも課長や職員には理解してもらい上程すべきである。

脇坂正孝 議員

今回の改編は、頭を変えただけで班のままでは効果があるとは思えない。町長の施策を実現するためには、せめて「室」として独立した組織として町をあげて推進しなければならない。今回の提案では、総務課へ重要な業務が集中し過ぎないか。

賛成討論

岡村達馬 議員

本提案に対する説明不足の感はあるが、町のDX業務を優先させ、町の安定を図りたいとの思いが見て取れる。今回の条例案が仮に否決された場合、町民の暮らしへの影響は計り知れない所が出てくるものもある。

【請願】「消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書」提出について

不採択

本請願については、総務文教委員会に付託され、審査を行った。
 審査にあたって、東彼民主商工会と東彼商工会について調査や意見交換会を実施した。
 東彼民主商工会においては、制度導入に対して慎重で、制度理解のための学習会や実施中止の署名活動が行われている。
 東彼商工会においては、制度導入にあたって会員への制度理解や相談活動に努められ、制度導入に対する準備が進められている。

反対討論

城後 光 議員 制度実施の法律が差し迫って事業が始まるタイミングでの中止を求めることは現実的ではない。苦渋の選択ながら意見書の提出については採択すべきではないと考える。

賛成討論

横山聖代 議員 今年10月から始まる制度なのにもかかわらず、制度を理解していない方も多い。実施延期を求めたり、経過措置期間限定の排除を求めたり、町内事業者のことを考えてほしい。

波佐見町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

可決

議員の定数や議員の報酬等については、議会改革調査特別委員会において時間をかけて協議を行ってきた。今回、波佐見町特別職報酬審査会の答申を受け、議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正するものである。

反対討論

岡村達馬 議員 コロナがまん延し本町でも製造・経済活動に大きな打撃を与え、回復には至っていない。農業においても米の価格低落は未だに続いている。削減された報酬は、子どもたちや福祉・高齢者に使うべきである。

岡村真由美 議員 一般町民の暮らしは大変厳しくなっている。今必要なのは、一律の報酬の引き上げではなく、政務活動費の支給だと考える。

賛成討論

城後 光 議員 議員や議会に求められる活動は幅が広がっている。また、議会議員に対する責任が求められることも増えている。この案は妥当なものであるものとして賛成する。

波佐見町課設置条例の一部を改正する条例

可決

本議案は、2月の臨時会において賛成少数で否決されたことを受け、再度3月定例会に追加議案として提案された。

提案理由は、組織、機構を見直し効率的な行政運営を図るため、改正するものである。

反対討論

脇坂正孝 議員 町長肝入りのDX推進の部署については、新設をして、より効果を上げるべきである。また、提案された時期も納得できない。

北村清美 議員 まず拙速過ぎることが問題である。職員間で議論させて、答申案を出して、結論を出し、提案すべきである。

賛成討論

岡村達馬 議員 次の変革、進化につながっていくものと確信する。今回の改正条例が否決されると町は大きくデジタル化へ立ち遅れが生じ、それに伴う混乱は取り返しのつかない事態が発生する。

福田勝也 議員 前回の反省を踏まえて、管理職と協議されたものと判断する。ベストな体制かは分からないが、課の業務の均等が図られているものと感じられるので、現状ではベターな選択と考える。

岡村真由美 議員 必要な改革であるし、リーダーである町長に任せるべき、町政に失敗は許されない、責任を持って職員と調和してやっけて行かれると信じる。

本委員会は、令和4年第3回議会で付託となった2件について、審査を行った。

1 「消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書」提出について

この請願は東彼民主商工会から提出されたもので、令和4年12月定例会で付託を受け、令和5年1月30日及び2月8日に審査した。

(1) 請願の趣旨

本年10月からインボイス制度（適格請求書等保存方式）の実施が予定されている。この制度は、免税業者を取引から排除しかねず、中小企業・自営業者には対応できる状況ではない。「消費税インボイス制度の実施中止を求める意見書」を政府に提出するよう要請する。

(2) 審査のまとめ

東彼民主商工会から請願について説明を受け、質疑を行った。

また、東彼商工会と意見交換会を実施した。

(3) 審査の結果

賛成少数で不採択すべきものと決定した。

2 「波佐見町基本構想について」

この議案は令和4年12月定例会で付託を受け、令和5年2月1日に審査を行った。

(1) 制定の背景

10年間のまちづくりの指針として、令和5年度～14年度を見据え、町民が暮らしやすい持続可能なまちづくりを進めるべく、第6次波佐見町総合計画を策定することとなった。

(2) 審査のまとめ

同基本構想（案）について、執行部から概要の説明があった。

作成の必要性や内容等について、多くの質問があった。

(3) 審査の結果

全会一致で可決すべきものと決定した。



本委員会は、2月13日に波佐見町建設業組合と意見交換会を行い、その後建設課の調査を実施した。

1 所管全般について

現在の建設業界は、職人や施工管理技術者の人員確保が厳しい。特に若年層がいない。

また、官製談合事件以降、職員とのコミュニケーションがうまく取れていない。これらの意見を踏まえ質疑を行い、工事発注における余裕工期の設定や週休2日制の導入、石積工などの職人確保が困難な工種の工法選定における配慮など今後、現場の状況を考慮し検討が必要である。

役場職員と受注者とのコミュニケーションについては、コンプライアンスガイドラインに沿って対応しているものと見るが円滑に進めるための工夫が必要である。

2 所見

意見交換会については、町内の建設業を取巻く現状について生の声を聴取することができたことは大変有意義であった。

特に気になるのが人手不足。工事を管理する技術者も各種職人も不足している状況は町内や県内に限らず全国的な問題となっている。土木系においては更に深刻な状況で、若年層の確保が困難なことから作業員の高齢化により工事の進捗にも影響が出ている。

建設課も現在の状況は認識しており今後、円滑な事業推進に向け様々な対策を講じるべきである。



新庁舎建設等調査特別委員会

本委員会は、2月8日と3月14日に調査を行った。
説明員 大橋庁舎建設推進室長・中村庁舎建設班係長



1 調査事項 1

- ① 3階フロア配置と什器発注の種別について
3階フロアは主に議会エリアを形成
議場、傍聴席、傍聴待合ロビー、委員会室、
正副議長室、議員控室
議員更衣室（男女別）、議会事務局

- ② 什器の仕様
建設工事に含まれる什器…議場、傍聴席、
議会事務局
(※窓口カウンターのみ)

入札で備品購入する什器…傍聴待合ロビー、委員会室、正副議長室、議員控室、
議員更衣室、議会事務局

2 調査事項 2

- ① 議会事務局室等フロアの配置変更について
議会事務局面積の拡張、男性更衣室・ロッカー室廃止、議会備品倉庫新設
- ② 委員会室及び議員控室の什器計画等について
委員会室什器（3月17日入札執行）
議員控室（3パターンから全員協議会等にて選考予定）

3 今後の調査予定

- ・ 工程について…新庁舎本年度9月完成予定。来庁者駐車場の一部変更など。
- ・ 議場家具の選考…県、他市町を参考に。
- ・ 什器の発注…各什器選考（6月定例会にて議案提出）・什器搬入（9月、10月）
本委員会と全員協議会等にて什器のデザイン、材質等で確認検討
備品譲渡会予定 令和6年1月

賛否表

○賛成 ●反対 ※議長は採決に加わりません。

		議席No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	審議の結果		
		議員名	前田博司	瀧本秋人	澤田昭則	岡村真由美	田添有喜	岡村達馬	福田勝也	城後光	横山聖代		北村清美	脇坂正孝	尾上和孝			
2月臨時会	補正予算	・ 令和4年度一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	条例	・ 波佐見町課設置条例の一部を改正する条例	●	●	●	●	●	○	●	●	●	○	○	○	○	○	否決	
		・ 町長及び副町長の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	契約	・ 町内小中学校トイレ改修工事（1工区）請負契約の変更 ・ 町内小中学校トイレ改修工事（2工区）請負契約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議	波佐見町議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
3月定例会	予算	・ 令和5年度一般会計予算 ・ 令和5年度特別会計予算（3会計） 国民健康保険、後期高齢、介護保険 ・ 令和5年度企業会計予算（3会計） 上水道事業、下水道事業、工業用水道事業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		補正予算	・ 令和4年度一般会計補正予算（第8号） ・ 令和4年度特別会計補正予算 国民健康保険（第3号）、後期高齢（第1号）、介護保険（第3号）、 公共下水道（第3号） ・ 令和4年度上水道事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	条例	・ 波佐見町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		・ 参考人等に対する実費弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
		・ 波佐見町会計年度任用職員給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		・ 波佐見町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		・ 波佐見町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		・ 波佐見町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	・ 波佐見町子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例 ・ 波佐見町国民健康保険条例の一部を改正する条例 ・ 波佐見町個人情報保護法施行条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	契約	・ 波佐見町課設置条例の一部を改正する条例 ・ 波佐見町新庁舎建設工事請負契約の変更 ・ 榊木場地区急傾斜地崩壊対策工事請負契約の締結 ・ 波佐見町インターネット構築事業請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
財産	・ 波佐見町新庁舎什器購入事業（その1）物品売買契約の締結 ・ 波佐見町新庁舎什器購入事業（その2）物品売買契約の締結 ・ 波佐見町新庁舎什器購入事業（その3）物品売買契約の締結 ・ 波佐見町新庁舎什器購入事業（その4）物品売買契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
その他	・ 字の区域の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
発委	・ 波佐見町議会の個人情報の保護に関する条例 ・ 波佐見町議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	

3月
定例会

11人が登壇 一般質問

QRコードを読み取ると各議員の動画が見られます。

※は掲載項目です



前田 博司 議員



議員 町内を走る路線バスでは減便が予定されていると聞く。通学等への影響も避けられない。

議員 地域公共交通における三層による交通システムの連携確立を図るとあるが、どのような連携を図るのか。

議員 本事業については、基金などを活用した集中投資による早期完成を目指すことはできないか。

町長 他の事業の取組みもあり、財源的な裏付けが必要となる。現行の計画のままでは厳しいため、計画変更も含め地元の方と話し合いながら一刻も早い完了に向けて取り組む。



西の原県道1号線

は若手職員を中心構成する情報発信委員会では、各部署を中心に検証を行い、各部署の連携に努めている。

ページ	議員名	質問項目
10・11	前田 博司	※・施政方針（地域公共交通、西ノ原土地区画整理事業） ※・町の情報発信 ・令和3年度災害復旧事業の進捗
	岡村 達馬	※・施政方針（小児科誘致） ※・公立中学校の部活動地域移行 ※・ギガスクールにおけるデジタル教科書の採用と活用
12・13	田添 有喜	※・道路整備と歩道整備 ※・河川整備と「桜づつみ」の維持・管理 ※・イノシシ等の被害防止対策
	尾上 和孝	※・空き家・老朽化家屋の対策と相続登記義務化 ※・再利用できる資源の活用
	城後 光	※・公共工事を取り巻く環境変化 ※・公共交通を取り巻く環境変化
14・15	福田 勝也	※・施政方針（移住・定住、高齢者福祉、スポーツ など）
	濱本 秋人	※・観光地づくり ※・廃石膏リサイクル事業 ※・人口減少対策
	北村 清美	※・施政方針（介護事業 など）
16・17	脇坂 正孝	・施政方針（定住支援・企業誘致、空き家対策） ※・教育行政
	澤田 昭則	※・施政方針（公園整備、定住支援、経済支援、ふるさと教育、スポーツ など）
	岡村真由美	※・施政方針（小児科誘致、保育士確保、波佐見高校支援 など）



岡村 達馬 議員

中学校の部活動 地域移行は



教育長

今後、関係者の協力を得て進めたい

議員

人口減少が進む今、子育て世代や移住定住には小児科は欠かせないと思うが。

町長

具体的に施策として小児科の誘致を検討している。町内医師会とも協議を進めている。

多忙を極める教員の働き方改革で、休日の部活動が地域や民間指導に委ねられようとしている。



波佐見中全国大会出場

議員

中学校の休日の部活動はどのように行われ、その指導体制の現状は。

教育長

全校生徒の9割が部活動に参加し、教員と地域の外部指導者34名で指導している。教員の休日確保のために月曜日はノー部活動としている。

議員

文科省は4年度に実証授業として全国のすべての小中学校に無償提供した。波佐見町ではどうか。



デジタル教科書による事業 (イメージ)

議員

文部科学省は令和6年度から小学5年生の算数と中学3年生の英語で、デジタル教科書の先行導入方針を固めた。

西ノ原に集中投資を

町長

一刻も早い完了に向け取り組む

町長

バスとタクシーの中間的存在の乗合交通を取り入れることでバランスを図っている。乗継本数や運行委託を含めて、利便性の向上に努めていく。

長期間に及んでいる西ノ原土地区画整理事業には地元関係者も疲弊している。



乗合交通

町の情報発信のツールは様々なニーズに対応する必要がある。

議員

情報発信などを統括する広報担当部署を設置できないか。

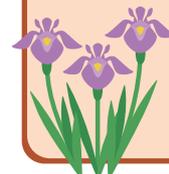
町長

設置するには、組織・機構を見直すことが選択肢としてあるが、現状

つぶやき

西ノ原土地区画
整理事業の早期完了

に向けての本気度を期待する。



つぶやき

学校の部活動や授業が大きく、しかも急激に変わろうとしている。先生たちの負担軽減とされているが対応は大丈夫か。



教育長

波佐見町では算数と国語を要望したが、一部変更したのもあった。またタブレットの一齐使用によりフリーズが起こり、今後の課題となっている。



尾上 和孝 議員



議員 不動産登記法が改正されるのだが周知不足。

議員 本町において相続登記が的確になされていない家屋・農地・山林はどのくらいあるのか。

町長 町道等の拡幅や公共事業においては支障がある場合は、相続登記にかかる手続きや登録費用を負担する事もある。本来個人がすべき相続登記の費用補助については考えていない。

町長 町民一人一人がサステイナブル（持続可能）に取り組む必要がある。

議員 商品を買った売上金を自治体に寄付する「メルカリ寄付」やリユース

町長 新庁舎移転に伴う備品の処分方法は、郷自治会やNPO法人等への譲渡、さらには一般向け公売会も検討したい。



歩道・河川敷のツツジ撤去を

町長

前向きに検討したい



田添 有喜 議員

町長 高齢化が進む中、道路や河川の維持・管理について真剣に考える時期が来ている。

議員 今後予定されている町道及び県道の整備工事は、

町長 県道では、佐世保嬉野線の歩道整備など5路線7か所。町道では、第2狩立線や横枕線など改良工事9路線と舗装工事5路線、その他9路線を予定している。

議員 町道の歩道に植え込まれているツツジの撤去は、

町長 植栽を撤去するのは忍びないが対応できるものがあるのか検討したい。

議員 「桜つつみ」を含む河川堤防で整備されていない部分への対応は、

町長 河川公園の管理は愛護団体の協力を得ているが、高齢化により会員が減少し、管理範囲の拡大は厳しい。

議員 今後の2級河川の整備計画は、



嬉野市の植栽帯

町長 県からは、現在実施している浚渫工事を継続して行うと報告がある。町としては引き続き地域からの意見を基に要望していく。

議員 河川内の樹木の伐採は、

町長 実施していただける自治会があれば町としても支援等を検討する。



未整備の堤防

高齢化が進む中、歩道や河川の管理が難しくなっている。歩道や河川堤防のツツジは撤去し、管理をやすくし、景観をよくすべき。

つばやき



町長 イノシシ等の被害は農地だけでなく、民家や墓地等にまで及んでいる。

議員 ワイヤーマッシュ柵の老朽化に伴い、更新時期を迎えている地区は、志折郷と小樽郷で約12kmの更新を行う。



城後 光 議員

減るバス本数対策は

町長

これ以上減らさないよう努める



議員

契約後の工事着手に余裕を持たせる余裕期間制度導入の考えは。

町長

余裕期間制度導入で工期の長期化など課題はあるが、現場代理人の調整を可能にするなどにより、入札参加を促すことに繋がる。

工事の規模や内容を考慮して、先行自治体の例を踏

空き家解体補助金制度は

町長

30万円を上限に補助する

議員

町で相続登記にかかる経費の補助は考え

町長

家屋建物についての未相続分は約16%。土地の面積全体に占める未相続土地の割合は、宅地約11%、農地約17%、山林約15%である。

所有者不明土地^(※)の解消に向けて、不動産に関するルールが大きく変わります！
※登記簿等見ても所有者が分からない土地の割合は、全国で9.9%あるの大きさに認識してもらっています

令和6年4月1日から相続登記の申請が義務化^(※)されます！

※正当な理由がなく義務に違反した場合は、10万円以下の過料が科せられることがあります

- 今のうちから、相続した土地・建物の相続登記をしましょう！
今なら、相続登記の免税措置も、拡大されています
- 相続の原、遺産分割をちゃんと済ませましょう！
- 登記の手続きは、法務局のホームページをご覧ください
- 相続・登記の専門家への相談も、ご検討ください

まえ導入に向けて前向きに検討したい。

車の免許返納者が増えるなど公共交通機関への期待は高まる一方で、運転士不足など事業者環境は厳しく、バスの運行本数は年々減少傾向にある。

議員

路線バスの本数減少のような対策を検討しているか。

町長

これ以上の減便や利便性の悪化がないように交渉し、国県の動向を注視する。広域連携を行い、

意識の定着を目的とした「メルカリエコボックス」に取り組めないか。既に導入されている自治体の状況を聞いた上で、本町に導入できるか研究・検討したい。

町長

事業者支援の可能性がないか研究を行なっていく。

路線	区間	本数	備考
西肥バス「下宿」	1区間	43	
	2区間	43	
西肥バス「上宿」	1区間	43	
	2区間	43	

西肥バス「下宿」時刻表

議員

公共交通のプロと言える人材を役場内で配置する必要があると考えるかどうか。

相続登記について、町民にもっと関心を持ってもらうよう務めてもらいたい。備品処分は、町民に有益になるよう進めてもらいたい。

つぶやき

町長

確かに交通に関する業務はプレッシャーがあり厳しい仕事である。町の規模として難しい面はあるが、交通に関する専門人材の育成は重要だと考えている。

つぶやき

有田町には、公共交通の専従職員がいっぱいいる。本町でも是非！



濱本 秋人 議員



町長 町長は、令和8年度125万人の観光客を見込んでいます。

議員 なぜ125万人なのかその根拠と現状は、第2期波佐見町観光振興計画の指針に基づいている。波佐見焼や波佐見町の人気とともに訪れ

る観光客も右肩上がり、令和8年にはコロナも終息していると考ええる。

議員 廃石膏リサイクル事業は、本町の重要な課題である。廃石膏はどのくらいあり、何%がリサイクルされているのか。



リサイクルを待つ廃石膏

れないか。

町長 人口減少は各自治体共通の課題である。一律無条件に応援金を支給する制度はない。人口減少問題を解決するうえで、検討に値する施策なのかと思うので十分な議論と検討をしたい。

スポーツの町としての取り組みは

教育長

スポーツ施設の維持に努める



福田 勝也 議員

定例会の開会にあたり、町長は新年度の町政運営について施政方針を述べた。

議員 移住・定住についてU・I・Jターンの促進や転入・転居者に対する定住支援施策の内容は。

町長 東京圏から波佐見町へ移住された方に対して移住支援金制度がある。単身の場合60万円、2人以上の世帯には100万円。また、18歳未満の世帯員を帯同して移住する場合の加

算額を1人あたり30万円から100万円に増額する。

議員 高齢者タクシー利用券助成事業の内容は。

町長 運転免許を持たない70歳以上を対象に申請により1万2000円分のタクシー利用券を交付。新たに運転免許を持つ75歳以上についても、一律6000円分の利用券を交付する。

議員 「スポーツの町波佐見町」として取り組みをどのように推進するのか。



体育センター



鴻ノ巣グラウンド

「元気なまちづくり」のため、スポーツ振興を。実績のある野球で野球場の建設を検討していただきたい。



つぶやき

教育長 各種スポーツへの支援と、いつでも誰でも取り組めるようグラウンド、体育館などの施設の維持に努めていく。波佐見町らしい振興を図っていく。



北村 清美 議員

介護の支援体制は

町長

人材確保を
全力で



議員 本町介護予防事業の充実や支え合いの整備体制は。

町長 町民とともに勉強会などを重ね、現在有償ボランティア4か所、居場所2か所で活動している。まだ十分ではないが、介護予防の必要性について研修会や勉強会・各種団体の集まりで周知を徹底していく。

町内就職者への応援金の支給は

町長

十分な議論と
検討をする



増える観光客

町長 約700トンで、90%がリサイクルを希望されている。

議員 民間主導の運営は可能か。

町長 農林水産消費安全技術センターに登録申請中で、許可が下りれば普通肥料として販売する。売

議員 介護の支援体制や施設等は十分か。

町長 通所系サービスが5事業所、訪問系サービスが2か所、入所系が6施設、小規模居宅介護事業所が2か所ある。他町に比べ遜色ないが、どの施設も介護人材不足の問題を抱え



支え合い勉強会

議員 本町への就職者の応援金の支給は考えら

町長 波佐見町も人口は年々減少している。何らかの対策が必要である。

議員 本町への就職者の応援金の支給は考えら



いきいき百歳体操

議員 過重な業務に追われている。介護人材の確保に向けてしっかりと取り組んでいく。

町長 タブレットなどを導入したが、高齢化社会と複雑多様化する状態で

波佐見の「ミッション」について、町長のイメージがすぐ湧くような「言葉」がほしい。

つぶやき

は、人を投入して問題を解決することしか有効な対応策がない。そして、昨年も主任介護支援専門員を募集しても応募者がなかった。非常に厳しい現実だが、これからも引き続き人員確保を図っていきたい。

廃石膏リサイクル事業は、波佐見ならではの事業です。早く認可が下りてくれればよいですね。

つぶやき



澤田 昭則 議員



町長 町長は施政方針で「人への支援や「選ばれる波佐見町」を目指した施策に取り組むと表明した。

議員 町中心部に児童公園や近隣公園等の新設は、都市公園法において設置することは非常に厳しく現実的ではない。

議員 物価上昇で暮らしに大きな影響を受けた全世帯を対象に町独自の「生活支援応援券事業」等の考えは。

町長 社会情勢を見ながら必要な支援は行った。新年度に追加の新たな支援事業は考えていない。

議員 商工会青年部主催のおしごと体験「わくわくワークショップ」は、南小学校の「ふるさと祭り」の一環で開催されている。全小学校の児童を対象に開催できないか。

教育長 各小学校のふるさと教育を大事にしたい。

議員 ので教育委員会が主導した形で3小学校には広げない。スポーツの推進でドーム屋根構造の全天候型屋内多目的広場の新設は。

教育長 財政的にも厳しく、施設建設は考えていない。

奨学金貸与額の増額は

教育長

検討する



脇坂 正孝 議員

議員 本町には「波佐見町奨学金」と「波佐見町のづくり奨学金」がある。

議員 ここ3年間の貸与状況はどうか。

教育長 奨学金の貸付状況は、令和2年度も3年度も新規貸し付けはなく、4年度の申請は3件である。町ものづくり奨学金は、2年度以降3年間新規申請はない。

議員 現在、高校生等は月額1万円以内、大学生等は月額2万円以内である。貸与額の増額はできないか。

教育長 貸与額の増及び数が月分を一括貸与する

議員 新規就農者等への返還金の減免拡大はできないか。

教育長 今年度から窯業、保育、介護事業所に就職した場合に奨学金返還の補助金を交付している。新規就農者に対しては、様々な国の制度や就農準備金がある。今後研究したい。

議員 「令和4年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査」で、子どもの体力は全国的に低下と発表された。

議員 本町の結果は。

教育長 8種目の調査項目で、柔軟性については全国平均を下回っている。

議員 低下の原因と対策は。



「遊びながら体力向上」

つばやき

奨学金の貸与申請が少ないのは、貸与金額が少額なことも要因の一つと思う。貸与額増と返還金の減免見直しが必要である。

教育長 主因は、「運動や遊びの減少」「不規則な生活習慣」「スマホやゲームなどの影響」等が考えられる。体力向上については、学校や家庭の協力を得ながら推進したい。一番大事なのは、遊びの復活かと思う。



岡村真由美 議員

産婦人科誘致については

町長

最優先すべきは小児科



町長 妊婦さんは周辺市町の病院を利用して現状を踏まえると、議論の対象になるかと考える。

議員 どう考えるか。本町に産婦人科が無くなって久しいが、

町長 医師会と協議を行っている。具体的な要望を知るために近くアンケートを実施する。

議員 進捗状況は。少子化対策の一つでもある小児科医の誘致は町長の選挙公約でもあり、意欲的に取り組まれている。

生活支援応援券事業等は

町長

新たな支援事業はない

町長 民間宅地開発は、移住・定住の促進の観点から効果は大きなものがある。現時点において新たな助成等は考えていない。

議員 新たな民間宅地開発で造成費用に対して事業者には支援事業補助金等の交付は。

町長 検討すべき問題かとは思いますが、適正な人数か否か、判断できない。

議員 保育士は一人で最大30人も見なくてはならない。どう思うか。

町長 令和2年度から家賃の補助を、今年度からは奨学金返済の補助なども行っている。

議員 本町が行っている保育士確保対策の内容は。保育士の確保に向けて対策が講じられている一方で、近隣の保育園でも事件・事故が発生するなど、不適切な保育が社会問題化している。



鴻ノ巣公園

西肥バスは、令和4年度に続き5年度にも大幅な減便を実施すると公表した。



公設民営の鴻ノ巣保育園（左奥）

つぶやき 不適切な保育を防ぐためにも保育士の待遇改善は急務。給与面だけでなく定数や有資格者の配置についても早急に改善すべきだ。



町長 議員 通学への影響は。通学便については配慮してもらえると思っている。今後も極力要請を続け、波佐見高校支援に尽くしていく。

つぶやき コロナ禍を乗り越えても経済は回復の兆しが見えず物価上昇などで事業者の経営環境は、より一層厳しい。多様な支援策を願う。



傍聴者の声

3月定例会には延べ13人の傍聴者がありました。
いただいたご意見を紹介します。

88才の方が免許証返納でどうすれば良いか分からないそうです。

(50才代)

答弁する人が早口で聞き取りにくかった。
西肥バスは佐世保市でも減便をしている。
あまりにも身勝手である。

波佐見高校の通学バスだったら他の会社のバスを利用したらどうでしょうか。

(60才代)



毎日のように高齢者の事故がテレビで報道されている。75才以上の免許返納を町ぐるみで勤めてはどうでしょうか？

自動車学校では指差し呼称などの確認を行うようにしたら良いのでは。

前は議員の報酬や予算審議等、ケーブルテレビで放映されていた。町民も知る権利があるので、今まで通りにしてほしい。

(60才代)

ふるさと納税基金を波佐見町の農業・窯業に利用したらどうでしょうか。

(60才代)

次回定例会は6月7日から15日までを予定しています。

編集後記

新年度を迎え、入学された一年生の皆様、中学・高校・大学とそれぞれ入学された皆様にお祝い申し上げます。また、学び舎を後にされ新社会人として就職された方々は、夢と希望をもって「舞いあがって」もらいたいものです。

私たち議会広報調査特別委員会では、町民皆様の声を反映し、わかり易く見やすい紙面づくりに取り組んでいます。ご意見等お寄せいただければと思います。

また、コロナが早く終息し、町の行事が復活し元の賑わいに戻るよう願っています。

(濱本 秋人)

議会広報調査特別委員会

委員長	田 添 有 喜
副委員長	澤 田 昭 則
委員	岡 村 達 馬
	岡 村 真 美
	前 濱 本 秋 人
	前 田 博 司

発行責任者

議長 百武辰美